平成 29 年度　春期　システム監査技術者試験　採点講評

午後 II 試験

問 1（情報システムに関する内部不正対策の監査について）は，設問イでは，アクセス権の限定，アクセスログの取得など一般的な技術的対策について論述している解答は多かったが，権限を有する者による不正アクセスなど，内部不正の特徴を踏まえた留意点を含めて論述できている解答は少なかった。設問ウでは，規程の整備，教育の実施といった組織的対策について論述している解答は多かったが，より一歩踏み込んで職務の分離などによる内部統制の構築，従業員などに対する営業秘密となる情報の明示といった対策まで論述できている解答は少なかった。本問は，不正アクセスの発見，防御の方法が，外部からの不正アクセスとは異なる内部不正対策の監査の出題なので，解答に当たっては，内部不正の特徴を踏まえて論述してほしい。

問 2（情報システムの運用段階における情報セキュリティに関する監査について）は，設問アでは，セキュリティレベルではなく，リスクを論述している解答が多かった。設問イでは，構築段階で想定できる要因とそのコントロールの論述が多く，問題文で求めている運用段階における情報セキュリティの脅威の変化を踏まえた解答は少なかった。設問ウでは，設問イで述べたコントロールに対応した監査手続を論述できていない解答が目立った。また，監査手続ではなく，監査結果，指摘事項などを論述している解答も散見された。本問は，運用段階において変化する情報セキュリティの“脅威”に対する監査の出題であるので，問題文をよく読み，題意を理解した上で，解答してほしい。